歯科医療活性化のはカギは本書に！

本書は2009年8月に石川県保険医協会が主催した保団連歯科代表・宇佐美宏氏の講演会の記録。宇佐美氏の蓄積された知識と鋭い分析力そして洞察力が凝縮された一冊。歯科診療報酬の変遷をたどることで歯科医療活性化に向けた課題が見えてくる。

会員価格 500円

（定価1,000円）税・送料込
各都道府県の保険医協会・医会の会員にも会員価格で販売
Ａ４判／32ページ／モノクロ

全国保険医団体連合会副会長・歯科代表 **宇佐美 宏氏の講演録**

診療報酬の変遷と今後の課題

―歯科医療活性化に向けて―

（宇佐美宏氏の講演抄録より）
私の大学在学中から卒業後数年（S.30年代後半から40年代）にわたって、歯科はまさにバブルであった。スタディグループが乱立し、売り手市場を背景に自費診療から差額診療と、患者の自己負担額は青天井となった。一方、保険診療の改善への努力を怠り、とりわけ補綴診療の改善は意図的に放置された。差額診療が社会的糾弾を浴び、撤廃された（51年通知）後に残されたものは、悪徳歯科医という汚名と公的歯科医療の厳しいシェアダウンであった。現在、歯科医療危機を打開するために、再びかつての道を目指すのか否かが問われている。
今回は、医科・歯科格差の大きい診療報酬の変遷を検証しながら、歯科医療の活性化に向けて何ができるのかを探ってみたい。

注 文 書 FAX:076-231-5156

（石川県保険医協会宛て）

1. 保険医協会・医会の会員ですか？
【　　】保険医協会の 会員ではない
【　　】保険医協会の会員である
⇒石川県外の会員の場合、右に協会名を記入してください【　　】保険医協会・医会

2. 注 文 冊 数　『診療報酬の変遷と今後の課題』【　　】冊

3. 医療機関・団体名　【　　】

4. 住　所　【〒　　－　　】
【　　】

5. 電話番号　【　　－　　－　　】

6. 注文者名　【　　】